



▲核分裂の仕組み学びました

## 原子力のしくみ学ぶ

原子力関連施設見学会は7月28日、広野小5・6年生を対象に行われ、つくばエキスポセンター（茨城県つくば市）を見学しました。85人が参加しました。見学会では、電気をおこすためのさまざまな仕組みを発電所の模型で学習。また、実際にペダルをこいで発電したり、原子力技術の歴史を年表で振り返るなどして理解を深めました。



▲優勝を目指して全力でプレーする選手

## 日本の頂点を目指し ～全日本少年サッカー大会開催～

第33回全日本少年サッカー大会は8月2日～5日、Jヴィレッジで開催されました。

大会は日本サッカー協会などの主催。全国の予選を勝ち抜いた小学生48チームが8グループに分かれて、リーグ戦と決勝トーナメントを戦いました。

大会期間中は選手や選手を応援しようと全国各地から保護者や関係者がたくさん訪れました。



▲ジャガイモを手で収穫する子どもたち

## 野菜の収穫を体験

「親子わくわく教室」が7月28日行われました。

5～6歳の子どもとその保護者を対象として、町内の親子25人が参加しました。

体験場所には、大和田久司さん（下北迫）にご協力をいただき、畑をお借りしました。

子どもたちはジャガイモやトマトなど野菜の収穫を楽しんでいました。

## 亀ヶ崎地区の盆踊りが開かれる

亀ヶ崎地区の盆踊りは8月14日、亀ヶ崎地区集会所で行われました。盆踊りの起源は、この地を開いた磐城平藩主内藤風山公の供養のためとされています。

会場では、やぐらを囲んで子どもたちが盆踊りを踊ったり、子供会で露店を出すなど手作りの盆踊りとなりました。

夜空には満天の星が輝き、風になびく稲。そんな広野の夏をやぐらから聞こえるおはやしの音色が包んでいました。



▲子ども会手作りの露店が並びました



▲亀ヶ崎地区盆踊りの様子

## 広野駅前でやぐらを囲み盆踊り

広野駅前盆踊り大会は8月15日、駅前で行われました。会場には商工会による露店が並び大勢のお客さんでにぎわいました。

やぐらの周りでは、亀ヶ崎・東下地区青年会のみなさんの太鼓とおはやしに合わせ、お盆を広野で過ごしていた帰省者や子どもたちが盆踊りを楽しみました。



▲駅前盆踊りの様子